平成 30 年度　大学入学共通テスト試行調査 世界史 B【解答】

問題番号	設問		解答番号	正解	配点
第 1 問 (24)	A	1	1	2	3
		2	2	4	3
		3	3	2	3
	B	4	4	2	3
		5	5	6	3
		6	6	3	3
	C	7	7	3	3
		8	8	1	3
第 2 問 (23)	A	1	9	1	3
		2	10	3	3
		3	11	4	3
	B	4	12	4	2
		5	13	1	3
		6	14	2	3
	C	7	15	2	3
		8	16	1	3
第 3 問 (18)	A	1	17	4	3
		2	18	5	3
		3	19	3	3
	B	4	20	3	3
		5	21	1	3
		6	22	3	3
第 4 問 (17)	A	1	23	2	3
		2	24	1 又は 5	3
			25	解答番号 24 が 1 の場合は 4 解答番号 24 が 5 の場合は 1	2*
	B	3	26	4	3
		4	27	1	3
		5	28	2	3
第 5 問 (18)	A	1	29	3	3
		2	30	4	3
		3	31	2	3
	B	4	32	2	3
		5	33	2	3
		6	34	3	3

＊：解答番号 24 で 1 を解答した場合は 4 を、5 を解答した場合は 1 を正解とし、点を与える。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し、無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査

世界史 B

Foresight 現役東大生の個別学習指導
オンライン家庭教師

■ 出題分析

配点	試験時間	大問数	センターとの難易度比較
100 点	60 分	5 題	同程度

センターとの分量比較	
減少　同程度　**増加**	設問数は 2 問減少したものの、本文ページ数は 10 ページ程度の大幅増加

＜トピックス＞

- 資料（文献資料、美術品、地図、グラフ等）を基に解答する問題が増加
- 上記変化と関連して、読み取る情報量が大きく増加し、解くのにかかる時間も以前より増加
- 他方で、問われている知識のレベルは従来のセンター試験と同程度

■ 全体分析

「思考力・判断力・表現力」を問う「大学入学共通テスト」らしい出題が多く見られたといえるだろう。歴史用語や年号などを含む世界史の知識の量を問う傾向にあった従来のセンター試験よりも、「世界史を大域的に理解できているか」といったマクロな理解や「与えられた資料と歴史的事項の関連性を推論できているか」といった思考力をより問うようになった点が特徴的だろう。ただ、このような出題形式の変更がなされるとはいえ、解答するために必要な基礎レベルの知識は従来と変わらない。

■ 大問別分析

※ 難易度は 5 段階表示で、フォーサイトの見解によるものです

問題	出題分野・テーマ	センター試験との相違点・コメント	難易度※
1A	人の移動と歴史	地図と世界史の知識をリンクさせて答える問題であった。問われている知識の難易度はそれほど高くない。正答率も 5～6 割程度。	標準
1B	地図と移動・交流	1A と同様、地図を基にした出題であった。基本的な知識が問われたため、正答率も 6～7 割程度であった。従来のセンター試験と同程度の難易度である。	標準
1C	言語事情とその歴史的背景	資料をもとに、答えの選択肢を選ぶ問題。これも難易度は高くないものの、1 問を解くために求められる文章量・情報量が多かった。	標準
2A	ポリュビオスの『歴史』と古代ギリシア・ローマ民主政	ポリュビオスの『歴史』を基に、政治思想や実際の政治現象について問う問題。やや長めの文章を読み、適切な解答を選択する必要があった。	やや易
2B	宮崎滔天の回想録と民族運動	宮崎滔天の回想録を基に、政治現象や近代の国際関係について問う問題。文語体の文章を読む必要があった点が特徴的だろう。	標準
2C	インドネシアの国章と政治思想	インドネシアに関する会話文を基に、インドネシア史に関する基本的な理解を問う問題。従来のセンター試験でも扱われるような基本知識が問われた。	標準

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し、無断転載・引用を禁止します。

3A	中国製磁器と その動きに関する歴史	中国製磁器を基に、当時の世界の「ヨコ」のつながりを問うような問題であった。正答率は 5 割強と標準的であった。	やや難
3B	貨幣と古代世界の形成	貨幣を基に、文化や宗教の理解を問う問題。問われている内容は基礎的だが、読み取る文章・情報の量が増加した。	標準
4A	風刺画と近代ヨーロッパ	風刺画を基に、近世・近代ヨーロッパの国際関係を問う問題。複数ある解答から自分が答えやすいものを選ぶ問題の存在が特徴的である。	標準
4B	遊牧国家と中華世界	様々な資料から、中国とその「周辺」世界との関係を問う問題。読み取るべき文章の量が多く、解くのに時間がかかるといえる。	やや難
5A	産業革命におけるイギリスの綿工業	図表や棒グラフ、折れ線グラフを基に考察する問題。学生と教師の会話文もあり、読み取るべき文章や情報の量がかなり多いが、問われている内容は従来のセンター試験と同程度。	標準
5B	為替相場・原油価格と 現代の世界	複数の折れ線グラフや会話文、地図を基に解答を導く問題。問われる知識の難易度は標準的である。経済に関する資料と政治・外交に関する知識をリンクさせることが求められた。	標準

■　合格への学習アドバイス

・学習指導要領を意識した設問（調査，発表，レポート形式）が増えており，資料を掲げた問題も増えている。しかし，ほとんどの問題はセンター試験と同じように関連語句・文章に下線を引いて知識を問う問題である。こういった問題は従来から存在したが、新テストではセンター試験と違って、文章の内容と選択肢の内容がよりリンクするようになった印象を受ける。具体例を挙げると、「米西戦争でフィリピンがアメリカに植民地として従属した」の文脈で「従属の内容」について正しいものを選ばせる、といったものである。選択肢の内容に「知識として」の誤りはなく、文章を読んで「従属」がフィリピンにおけるものかを判断する必要がある。従来のセンター試験では、リード文を読まなくても解ける問題があったが、新共通テストにおいては、文章をしっかり読む必要がある可能性が高く、センター試験よりも時間配分がシビアになることは確実だろう。

・第 5 問の前半に出題されたような、資料を知識と関連させる問題は良問であり，このような形式の問題に備えておくのが良いだろう。受験校によっては、二次試験の論述対策にもつながりうる内容である。

・資料・図表、時系列把握、歴史の展開（推移や変化）、歴史の共通点・相違点、歴史相互のつながり、歴史の背景・原因・結果・影響、歴史の多面的・多角的な意味や意義、現代的課題への応用など、世界史を総合的に理解しているかを強く意識した出題であった。

・歴史相互のつながりや因果関係、現代的課題への応用などがよく問われている点は、二次試験で論述問題を課されるような受験生には有利かもしれない。そういった受験生にとっては、新テストの難易度はそれほど問題にならないかもしれない。他方で、二次試験で一問一答のような細かい知識を問われる受験生（例えば、一部の私立大学等を受ける受験生）にとっては、新テスト独自の対策が必要となるだろう。

・全体的に文章量・情報量が多くなっているため、「てきぱきと」こなしていく練習をしていくと良いだろう。平成 29 年度試行調査、平成 30 年度試行調査、市販の教材などを用いて、時間を意識した演習を行うのが最適な対策のように思われる。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査　世界史 B

第 1 問

出題範囲	諸地域間の接触と交流
難易度	★★★☆☆
所要時間	得意：10 分　　ふつう：12 分　　苦手：14 分
講評	第 1 問では、地図や図を用いた問題が多く出題された。教科書などで学んだ歴史の知識を世界地図とリンクさせることができているかが問われたといえるだろう。また、問われた時代も古代～現代と幅広く、苦戦した受験生も多かったのではないだろうか。今後の学習においても、細かい知識を覚えるのみならず、歴史のマクロな流れを理解することを意識していこう。

A

問 1　1　**正解は②**

難易度　★★☆☆☆

解説

① 誤　ノルマン人は 11 世紀ごろにヨーロッパの北方から南下し、その一部はイタリア半島先端部のシチリア島にシチリア王国を建国した。ノルマン人たちは北フランスやイングランドでも征服活動を行っており、そのうち**ノルマンディー公ウィリアム**らの集団は**ヘースティングズの戦い**で勝利して現在のイギリスにノルマン朝を建てている。ノルマン人は北アフリカから移動したわけではないので不適。

② 正　ウマイヤ朝は 4 代目カリフの**アリー**の死後、**ムアーウィヤ**によって開かれたイスラーム王朝である。北アフリカを中心に勢力を広げ、711 年にはジブラルタル海峡を超えて西ゴート王国を滅亡させた。イベリア半島のキリスト教勢力はその後 700 年以上にわたって**レコンキスタ**を続けることになる。

③ 誤　ファシスト党の最高指導者として 1922 年にイタリア首相の座についたムッソリーニは、1935 年にエチオピアに侵攻し、併合した。エチオピアはアフリカ北東部に存在して地図の場所とは合致しないため、不適。

④ 誤　1950年代中盤以降、アルジェリアの独立運動が本格化し、フランス本国も混乱に陥った。そこで第二次世界大戦中の英雄として知られる**ド＝ゴール**が大統領に就任して、混乱を収拾することになった。ド＝ゴールは軍部などの反対を押し切って**アルジェリアの独立**を承認した。つまり、植民地化を進めたわけではないため、不適。

以上より、正解は②。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

問 2 2 **正解は④**

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤　第 1 回十字軍は、フランスやドイツの諸侯らを中心に編成され、**1096年**に派遣された。**イェルサレムの占領**に成功している。しかし、X も Y も第 1 回十字軍に関する説明ではないため、不適。

② 誤　東方植民は、ドイツ騎士団が中心となってエルベ川以東で行ったもので、Xの説明に合致する。しかし、東方植民を行った地域は東ヨーロッパであり、西アジア方面への移動を指す地図中の矢印 cに合致しないため、不適。

③ 誤　フン人は、東方からヨーロッパに侵入した遊牧民族とされている。彼らがヨーロッパ侵入の足がかりとしたのは、南ロシアや東ゴート人が居住していたパンノニアといった地域である。よって、地図中の矢印 dに合致しないため、不適。

④ 正　ウィーン包囲は、オスマン帝国軍が神聖ローマ帝国のウィーンを攻撃した出来事。1529年と 1683年の 2 度起きている。第 1 次ウィーン包囲はスレイマン 1 世が主導して行っており、地図の矢印 dにも合致する。

以上より、正解は④。

問 3 3 **正解は②**

難易度 ★★☆☆☆

解説

① 正　共和政ローマは、3 度にわたるポエニ戦争を経て、B.C.146年にカルタゴを滅ぼした。

② 誤　メロヴィング朝は**クローヴィス**が 481年にフランク人を統一して開いた王朝で、751年まで続いた。一方、マムルーク朝はアイユーブ朝のトルコ人奴隷軍団が 1250年に樹立した王朝である。よって、両者が同時代に接触した可能性はない。

③ 正　ローマ帝国は 395年に東西に分裂し、東ローマ（ビザンツ）帝国は 1453年にオスマン帝国に滅ぼされるまで存続した。ヴァンダル王国は北方から移動してきたゲルマン人のうちヴァンダル族が 429年に建てた王国で、東ローマ帝国のユスティニアヌス帝が派遣した軍によって 534年に滅ぼされた。

④ 正　スペイン王国は、1479 年にアラゴン王国とカスティリャ王国が統合して成立した国。ナスル朝は、イベリア半島に残っていた最後のイスラーム勢力である。スペイン王国は 1492年にナスル朝最後の拠点であったグラナダを陥落させ、レコンキスタを完成させた。

以上より、正解は②。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

B

問 4 4 **正解は②**

難易度 ★★★★☆

解説

① 誤　生糸と銀の貿易が盛んに行われていたのは、明代の中国と日本などにおいてである。当時、長江下流域の農民たちは銀収入を得るために生糸の生産を活発に行った。この生糸はアメリカ大陸や日本といった地域に輸出され、銀と交換された。

② 正　トンブクトゥはマリ王国の交易の中心であり、金が豊富に産出された。この金と交換されたのが、サハラ砂漠で産出される岩塩である。両者の交易にはムスリム商人が大きな役割を果たした。

③ 誤　毛皮と薬用人参を主な貿易品としたのは、日本海に存在した渤海（698～926年）である。

④ 誤　ヨーロッパ人が香辛料を求めて進出したのは、大航海時代になってポルトガルやスペインといった国々が進出したインドや東南アジアなどの地域である。

以上より、正解は②。

問 5 5 **正解は⑥**

難易度 ★★☆☆☆

解説

ア　リード文から、地図 1 のもとになった地図は中国で 14 世紀に作られていたことがわかる。また、直後の文章から「東西交通が活発で」あったことが示されており、ユーラシア大陸を広く支配したモンゴル帝国時代の東西交流に関する文章が入ると推測できる。よって、a, c, d のうち適切な選択肢は d である。**イブン＝バットゥータ**は 14 世紀、アフリカから元の大都にまでたどり着いたとされる大旅行家で、**『三大陸周遊記』**で知られる。この時代の東西交流において著名な人物としては、他に**モンテ＝コルヴィノ**などがあげられる。

イ　リード文から、地図 2 は地図 1 から 200 年後、つまり 1600 年頃に作られたことになる。15～16 世紀にかけて地理的知識が増加したのは、いわゆる大航海時代の結果である。よって、b, e, f のうち適切な選択肢は f である。**マゼラン**らは 1519～22 年にかけて世界周遊を行い、結果的に地球球体説を立証することになった。

以上より、ア - d, イ - f となる⑥が正解。

問 6 6 **正解は③**

難易度 ★★★☆☆

解説

地図 1 は、リード文から 1402 年の作成だとわかる。

a　**甲午農民戦争**は、1894 年に起きた農民蜂起である。この動乱に対して中国（清）も日本も出兵し、収束後も

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

両者が撤兵しなかったことが日清戦争につながったことを覚えていれば、近代以降の出来事だとわかる。

b **楽浪郡**は、中国王朝が朝鮮半島支配のために置いた郡のひとつである。漢の武帝が B.C.108 年頃に設置し、高句麗が 4 世紀に滅ぼした。朝鮮半島の統一が 7 世紀と早い時期に行われたことを考慮すれば、それ以前の出来事だとわかる。

c 豊臣秀吉が朝鮮半島に出兵したのは 1590 年代のことである。江戸幕府が開かれたのが 1600 年頃であることを考えれば、その直前と考えるのが自然だろう。

以上より、b→地図 1→c→a となる③が正解。

C

問 7 7 **正解は③**

難易度 ★★★☆☆

解説

ウ カナダ全体の第一言語の比率を見ると、「英語」が多数派を占めていることがわかる。つまりここでは、カナダ全体で英語が第一言語として多数派になっている理由を選択する必要がある。b または d が選択肢としてありえるが、ここでは b が適切な選択肢である。d の選択肢にある**プラッシーの戦い**は、インドに対するイギリスの支配が進むきっかけとなった戦いだからである。カナダはイギリス連邦の成立（1931年）によってイギリスと対等な立場を得るまで、イギリスの植民地・自治領だった。よって、b がカナダについて説明した文章として適切であるとわかる。

エ ケベック州における第一言語の比率を見ると、カナダ全体とは対照的に「フランス語」が多数派を占める。a または c が選択肢としてありえるが、ここでは c が適切な選択肢である。ケベックの住民は多くがフランス系で、さらに「史上初の黒人共和国」はカリブ海のハイチのことだから、a は適切な選択肢ではない。ケベックには 17 世紀初頭にフランス人が入植したが、七年戦争、フレンチ＝インディアン戦争、カーナティック戦争の講和条約である**パリ条約**（1763 年）でイギリスに割譲された。

以上より、ウ - b, エ - c となる③が正解。

問 8 8 **正解は①**

難易度 ★★★☆☆

解説

オ 1860 年代にアメリカ合衆国西部に移民した中国人労働者は、インド人労働者と合わせて**苦力**（**クーリー**）とよばれ、大陸横断鉄道の建設などに従事した。最初の大陸横断鉄道は 1869 年に開通している。**パナマ運河の建設**は 20 世紀に入ってからのことであり、不適。

カ 世界各国から流入する移民に対して、アメリカは時にその流入を制限しようとしてきた。1882 年には中国人移民が禁止され、代わりに増加した日本人移民も 1924 年の移民法で実質的に禁止された。

以上より、オ - 大陸横断鉄道の建設、カ - アジア系の移民を禁止する となる①が正解。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査　世界史 B

第 2 問

出題範囲	世界史上の政治思想
難易度	★★★☆☆
所要時間	得意：9 分　　ふつう：10 分　　苦手：12 分
講評	第 2 問では、長めの文章を読みつつ、その文章内の空欄を埋めたり、その文章内の表現の意味を世界史的な知識と絡めながら答えたりする問題が多く出された。問われている内容は教科書レベルではあるが、単に歴史用語を暗記するだけではなく、その用語が持つ意味やその用語の背景となる時代や地域への理解が求められた問題といえるだろう。不正解が多かった受験生は、普段の学習から歴史用語の意味や背景を意識した学習を心がけよう。

A

問 1　9　**正解は①**

難易度　★★☆☆☆

解説

ア　リード文から、「元老院」が貴族制的要素と僭主制的要素のいずれを持っているかを判断すればよい。僭主とは非合法的に支配権を握った君主のことで、古代アテネの**ペイシストラトス**が知られる。元老院は公職経験者や有力者といった貴族によって構成された議会で、はじめは強い権力をもっていた。よって、アに当てはまるのは貴族である。一方、平民ははじめ権利を有さなかったが、**十二表法**や**リキニウス・セクスティウス法**、**ホルテンシウス法**といった法律を通じて貴族と同等の権利を獲得していった。

イ　リード文から、イに当てはまる人物は共和政期末の内戦を勝ち抜いたこと、最後は暗殺されてしまったことがわかる。前者は**内乱の 1 世紀**のことを指していると考えられる。B.C.1 世紀のローマでは、有力な政治家たちが私兵を抱えて暴力闘争を繰り広げていたが、B.C.60 年頃になるとカエサル・クラッスス・ポンペイウスの 3 人が同盟を組んで政治を担った。これを**第 1 回三頭政治**という。カエサルはその後も**ガリア遠征**を成功させるなど力をつけ、B.C.44 年頃には終身独裁官の地位を得た。しかし、これに対して反発した共和主義者によって同年に暗殺されてしまった。よって、イに当てはまるのはカエサルである。

以上より、ア - 貴族、イ - カエサル となる①が正解。

問 2　10　**正解は③**

難易度　★★☆☆☆

解説

①　誤　「最大多数の最大幸福」とは、**ベンサム**が唱えた功利主義の標語である。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

② 誤　王権神授説について説明したもの。ヨーロッパの絶対王政の多くは、この説に基づいてその統治を正当化した。王権神授説は、16 世紀にフランスのボーダンが始め、ボシュエによって完成された。

③ 正　三権分立について説明したもの。**モンテスキュー**らが唱えたこの考え方は、現在のアメリカ合衆国憲法、さらには日本国憲法にも受け継がれている。

④ 誤「王は君臨すれども統治せず」とは、ジョージ 1 世以降のイギリス国王の政治的立場を象徴することば。ジョージ1世の時代に成立した**ウォルポール**内閣の下で、内閣が議会に責任を負う責任内閣制が確立された。これは、現在まで続くイギリスの政治体制の基礎となっている。

以上より、正解は③。

問 3　11　**正解は④**

難易度　★★★☆☆

解説

① 誤　南北戦争中のアメリカについて述べた文章。南北戦争（1861～65 年）中の 1863 年に奴隷解放宣言が出された。

② 誤　アテネについて述べた文章ではあるが、これは**ソロン**の改革を説明したもの。ソロンは財産の額で政治参加の度合いが決まる**財産政治**を導入し、また債務を帳消しにすることで市民が奴隷化することを防止した。しかし、リード文にあるテミストクレスの時代よりも前の時代であり、適さない。

③ 誤　ヒッタイトについて述べた文章。ヒッタイトは世界で初めて**鉄製武器**を実用化し、バビロン第 1 王朝を滅ぼした。海の民の侵入などによって滅亡したとされる。

④ 正　アテネでは、武器を自前で用意できる市民が重装歩兵として戦力の中心とされ、政治参加の資格を与えられていた。しかし、武器を自弁できない**無産市民**（下層市民）もペルシア戦争において三段櫂船の漕ぎ手として活躍したため、戦後には政治的地位を向上させ、発言力を強めた。ここにおいて、アテネ民主政が確立した。

以上より、正解は④。

B

問 4　12　**正解は④**

難易度　★★★☆☆

解説

まず文章から、「はじめてポンセ君と相い見」たのは「清国皇帝」が**康有為**の意見に基づいて改革を行っていた時代であることがわかるので、日清戦争後の**戊戌の変法**（1898 年）の頃だとわかる。さらに、「ポンセ君」は「『フィリピンの志士』の一人」であることがわかるから、1898年頃のフィリピンの状況を考える。

当時、**ホセ＝リサール**などが主導してスペインからの独立運動が続いていたフィリピンだが、1898 年に起きた**アメリカ＝スペイン戦争**（**米西戦争**）の結果、アメリカが新たにフィリピンを領有することが決まった。「自

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

由のために e と戦」っていたのに、新たに「自由のために f と戦わ」なくてはいけなくなったとの記述を考えると、これらの空欄にはスペインとアメリカ合衆国が入ると考えられる。

以上より、正解は④。

問 5 13 **正解は①**

難易度 ★★☆☆☆

解説

前問と同様、当時のフィリピンの状況を考えればよい。アメリカ＝スペイン戦争の結果、スペインからアメリカに支配権が移ったものの、フィリピンは依然として欧米列強の植民地のままだった。

以上より、正解は①。

問 6 14 **正解は②**

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤 「清国皇帝」について文章で触れられているのは、その時代の状況を説明している冒頭だけであり、文章からは著者と「清国皇帝」のつながりは把握できない。さらに「清国皇帝」は「改革をはか」っていた立場であり、政治改革を阻もうとしていたわけではないことからも、不適。

② 正 著者と話す「ポンセ君」は、フィリピンの現状について著者に強く主張を展開している。さらに、著者が香港で「交りを結」んだ**興中会**は孫文が設立した革命団体であり、三合会も同様に革命団体だと考えられる。よって、著者は民族主義に共鳴する立場の人物であると考えられ、この選択肢が適切。

③ 誤 文章中で社会主義に関する記述が見られないことから、不適。

④ 誤 ①と同様、清国の状況に関する説明はその時代の状況説明にすぎない。さらに「清国皇帝」が行っている改革に反対する「旧守派」は共和国の樹立を目指しているのではなく、むしろ従来からの制度を守ろうとしていると考えられるため、不適。

以上より、正解は②。

C

問 7 15 **正解は②**

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤 アフリカ東海岸について述べたもの。この地域では、**ダウ船**を使う**ムスリム商人**が季節風を利用して交易を行っていた。ザンジバル、キルワなどが有名な都市である。この交易の中で現地語とアラビア語が融合して生まれたのが、スワヒリ語である。

② 正 ボロブドゥールは、8世紀にインドネシアのジャワ島に建てられた寺院である。インドネシアはイスラ

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

ーム教が多数派でありながら、ヒンドゥー教、仏教などさまざまな宗教が入り乱れている国で、例えばバリ島ではヒンドゥー教徒が多い。

③ 誤　ベトナムについて述べたもの。**ドンズー（東遊）運動**とは、民族主義者**ファン＝ボイ＝チャウ**の提唱で始まった、ベトナムから日本に留学生を派遣して知識や技術を身につけさせる運動のことである。

④ 誤　キューバについて述べたもの。1962 年にソ連はキューバにミサイル基地を建設しようとしていたが、アメリカの強硬な反対にあい、一時は米ソ開戦まで取りざたされた。これを**キューバ危機**という。

以上より、正解は②。

問 8　16　**正解は①**

難易度　★★☆☆☆

解説

a　正　スカルノはインドネシア共和国の初代大統領で、第二次世界大戦前にはインドネシア国民党を結成して民族主義運動を指導していた。独立後は**第三世界**を指導するなど対外的にも活躍していたが、**九・三〇事件**で**スハルト**によって失脚させられた。

b　誤　ナセルは**エジプト革命**（1952年）の中心人物として知られる。大統領に就任したのち、**スエズ運河の国有化**（1956年）、**アスワン＝ハイダムの建設**といった政策を実行していった。

あ　正　文章中の「多様性の中の統一」という言葉から推測できる。インドネシアは数多の島々によって構成されており民族集団も多様だったが、スカルノは共通言語としてのインドネシア語など国民統合に力を入れたとされている。

い　誤　いわゆる開発独裁の形態に関する説明。

以上より、a - あ となる①が正解。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査　世界史 B

第 3 問

出題範囲	世界市場の交易品や貨幣
難易度	★★☆☆☆
所要時間	得意：6 分　　ふつう：8 分　　苦手：10 分
講評	第 3 問は、世界各地の博物館や美術館にある美術品を題材に、その美術品にまつわるエピソードから世界史に関する基本的な理解を問うような問題であった。見慣れない出題形式に戸惑った受験生も多いかもしれない。このように、与えられた史料からわかることと、教科書などで学んだ知識を組み合わせて解く問題は、大学入学共通テストで出題される可能性が高い。今のうちに慣れておくのが良いだろう。

A

問 1　17　**正解は④**

難易度　★★☆☆☆

解説

① 誤　「マラッカを統治していた」が誤り。オスマン帝国が支配していた領域は最大でもカスピ海の辺りまでで、東南アジアのマラッカを支配したことはない。

② 誤　「スエズ運河を経由して」が誤り。16 世紀当時にはスエズ運河は存在せず、完成したのは **1869 年**のことである。

③ 誤　カントン（広州）貿易をイギリスが独占していたのは、17 世紀以降のこと。**イギリス東インド会社**が設立されたのも **1600 年**のことで、1541 年当時は東インド会社自体が存在しない。

④ 正　マラッカは、東アジアとインド・ヨーロッパを行き来する際に必ず通行する海上交通の要所であり、1541 年当時にはポルトガルが支配していた。

以上より、正解は④。

問 2　18　**正解は⑤**

難易度　★★★☆☆

解説

ア　正　16 世紀半ば、**後期倭寇**によって密貿易が活発化し、モンゴルの侵攻と合わせて**北虜南倭**と呼ばれる危機に陥り、明は海禁政策を緩和するに至った。

イ　正　16 世紀は石見銀山などで産出される日本銀やラテンアメリカからの**メキシコ銀**など、中国への銀の流入が進んだ時期でもあった。銀の流通増加は、**一条鞭法**の導入にもつながった。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

a　誤　どちらとも対応しない。新法は、北宋（960～1127年）で王安石が主導して行った改革のこと。青苗法や均輸法、市易法などがある。

b　正　イと対応する。

c　誤　どちらとも対応しない。**公行**を通じた貿易の管理が廃止されたのは、アヘン戦争後のことである。

d　誤　どちらとも対応しない。日本との間で**勘合貿易**が始まったのは、1400年頃のことである。

以上より、イ - b となる⑤が正解。

問 3　19　**正解は③**

難易度　★★☆☆☆

解説

①　正　ヨーロッパで茶を飲む習慣が広まったのは、17世紀後半頃のことである。日本や中国から茶が流入したことで、イギリスを中心に茶を飲む習慣が定着し、今日まで続いている。

②　正　茶やコーヒーを飲む習慣が広まると同時に、砂糖の需要も増加した。南北アメリカの植民地では砂糖の**プランテーション**栽培が広まり、その労働力としてアフリカから**黒人奴隷**が導入された。

③　誤　パンは古代から作られている。ローマ共和政の時代に**「パンと見せ物（サーカス）」**という言葉があったことからも、パンが遅くともその時代に存在していたことが推測できるだろう。

④　正　コーヒーがヨーロッパに伝わったのは、17世紀のことである。ロンドンなどではコーヒーハウスが流行し、市民たちの情報交換の場として使われていた。

以上より、正解は③。

B

問 4　20　**正解は③**

難易度　★★★☆☆

解説

a　誤　鳩摩羅什は西域のクチャ出身で、後秦の長安に招かれて仏典を漢訳した。「中国から西域へ」が誤り。

b　正　法顕は東晋の僧で、インドへ旅して『仏国記』を著した。

以上より、a - 誤、b - 正 となる③が正解である。

問 5　21　**正解は①**

難易度　★★☆☆☆

解説

①　正　ゾロアスター教はゾロアスターが創始者とされる、火や光を重視することが特徴的な宗教。最高神はアフラ＝マズダという。ササン朝では国教とされた。イランの民族宗教として発展したが、7 世紀にイラン人がイスラーム化したことで衰退した。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

② 誤　ゴシック様式は、12世紀頃に北フランスから広まった建築様式である。

③ 誤　キープ（結縄）はインカ帝国で用いられた記録方法。インカ帝国は文字が存在せず、キープ（結縄）は数字を記録するために用いていたといわれている。

④ 誤　神聖文字は、古代エジプトで用いられていた文字。象形文字の一種である。1822 年にフランス人の**シャンポリオン**が解読に成功した。

以上より、正解は①。

問 6　22　**正解は③**

難易度　★★★☆☆

解説

X　文章から、この時代にはサンスクリット文学が栄えたこと、**ナーランダー僧院**などを通じて中国との交流が行われたことがわかる。これは、グプタ朝の時代である。チャンドラグプタ 2 世の時に最盛期を迎えたこの王朝は、4～6世紀頃に存在していた。

Y　文章から、パルティアと同時代の王朝が発行した硬貨であることがわかる。この王朝は**バクトリア**である。バクトリアは、アレクサンドロス大王の帝国が滅亡したのち、サトラップの 1 人がアム川流域に建てた国家であり、B.C.3～B.C.2世紀頃に存在していた。

Z　文章から、これは非ムスリムのジズヤを免除した北インドのイスラーム王朝が発行したことがわかる。このことから、この硬貨はムガル帝国のアクバル帝の時代のものであると推測できる。概ね 1600年頃のことである。

以上より、Y→X→Z となる③が正解である。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査　世界史 B

第 4 問

出題範囲	世界史上の国家間の関係
難易度	★★☆☆☆
所要時間	得意：7 分　　ふつう：9 分　　苦手：10 分
講評	第 4 問では、風刺画や資料を基に、世界史上の国家同士の関係性を考える問題が多く出された。世界史においては、このような「ヨコ」のつながりの理解を問う出題がよくなされる。一国・一地域の「タテ」の通史だけでなく、複数の国家や地域間の関係といった「ヨコ」の同時代史もおさえておく必要があるといえるだろう。また、問 2 は、複数の正答から自分で選択したものについて、さらに深く考えるという特徴的な問題であった。このような問題は、自分が答えやすいものを最初に選んでおくのがベターといえるだろう。

A

問 1　23　**正解は②**

難易度　★★☆☆☆

解説

① 正　スペイン内戦（1936～39 年）は、人民戦線内閣に対して**フランコ将軍**が主導する軍が反乱を起こしたことで発生した内戦。フランコ将軍側はドイツ・イタリアの支援を受けて勝利をおさめた。スペイン内戦における独伊の提携は、第二次世界大戦における両国の連携にもつながったと言われる。

② 誤　ユーゴスラヴィア連邦は多数の民族・共和国などを統合した国家だったが、その支柱だった指導者**ティトー**の死後、冷戦終結もあって空中分解状態に陥った。そのため、ユーゴスラヴィア連邦が解体したのは 1991 年以降のことである。

③ 正　イギリスで保守党と労働党の二大政党の体制が定着したのは、1920 年代のこと。それ以前はホイッグ党の流れを継ぐ自由党が二大政党の一翼を担っていたが、徐々に労働党がその地位を担うようになっていった。

④ 正　フランスとベルギーがルール地方を占領したのは、1923～25 年のこと。第一次世界大戦の賠償金支払いが不履行になったことを口実とした。

以上より、正解は②。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

問 2 24 ・ 25 **正解は①・④ または ⑤・①**

難易度 ★★★☆☆

解説

(1)

ポーランド分割に参加していた 3 カ国とは、オーストリア・ロシア・プロイセンであることを考えると、⑤が正解の 1 つであることがわかる。ロシアにあたる選択肢として考えられるのは①または④だが、当時の皇帝が女帝である**エカチェリーナ 2世**であったことを考えると、①がもう 1 つの正解であると推測できる。エカチェリーナ 2 世は当初啓蒙専制君主として改革の姿勢を見せていたが、プガチョフの農民反乱などを受けて反動化した。

(2)

①の場合　b, d, h が当てはまる。b の**ウィーン会議**は 1814～15 年の出来事。正確な年号がわからなくても、フランス革命後にナポレオンが皇帝となったのが 1800 年頃であることから 19 世紀前半と推測できる。d の**ペテルブルク建設**は 1703 年頃の出来事。ピョートル 1 世の治世下に建設し、モスクワから遷都した。h の**三国協商**の形成は第一次世界大戦直前、つまり 20 世紀に入ってからの出来事。フランス・イギリス・ロシアの 3 カ国で協力関係を構築したことをいう。以上より、d→b→h となる④が正解。

⑤の場合　a, b, g が当てはまる。a の**シュレジエン獲得**は、七年戦争（1756～63 年）後のこと。先立つオーストリア継承戦争中にプロイセンはシュレジエンを占領している。b のウィーン会議は 1814～15 年の出来事。g の**ドイツ帝国建国**は 1871 年の出来事。普仏戦争（1870～71 年）の結果、プロイセンの主導でドイツ統一が実現し、フランスのヴェルサイユ宮殿で**ヴィルヘルム 1 世**が皇帝に即位した。以上より、a→b→g となる①が正解。

以上より、正解は①・④または⑤・①。

B

問 3 26 **正解は④**

難易度 ★★☆☆☆

解説

a　誤　綿織物を特産品としていたのは、インドなど。

b　正　絹は中国の特産品である。中央アジアを通る**シルク＝ロード**では、中国から絹織物を送り出していた。

あ　誤　資料 1、資料 2 からは、中国王朝が遊牧国家から物品を受け取ろうとしていたことは読み取れない。

い　正　資料 1、資料 2 からは、中国王朝は遊牧国家に対して金・銀・酒などを与えていたことがわかる。

以上より、b - い となる④が正解。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

問 4 27 **正解は②**

難易度 ★★★☆☆

解説

① 正 630年に存在した中国王朝は、唐である。唐が 8 世紀後半に導入した税法に**両税法**がある。年 2 回、資産や耕作面積に基づいて税の納入が求められた。

② 誤 これは周～春秋戦国時代の説明。周代には天子が天命を受けて人々を統治する形ができていたが、群雄割拠の時代になると各国の諸侯たちが分立するようになった。

③ 誤 **新文化運動**（1910 年代）の中で生じた文学革命のこと。**陳独秀**や**胡適**といった人々がその担い手となった。

④ 誤 三国時代の魏の時代に導入された**九品中正**のこと。中央から派遣された役人が人材を 9 段階に評価し、中央に対して推薦を行っていた。徐々に豪族の中央政界進出に利用されるようになった。

以上より、正解は①。

問 5 28 **正解は②**

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤 この手紙では、日本側は隋を対等な相手とみなしていると読み取れる。少なくとも、中国王朝の方が優位であるとみなしているとは読み取れない。

② 正 手紙中では「謹んで」「頂戴して」「厚い恩」といった、琉球側が中国王朝を仰ぎ見る表現が見られる。

③ 誤 手紙中で「並び立つ帝国をつくってきた」との記述があることから、ベトナムの各王朝と中国の各王朝は対等な関係にあると考えていることが読み取れる。

④ 誤 手紙中では中国を「大中国」、チベットを「大チベット」と表している。よって、両者が対等な関係にあると考えていると読み取れる。

以上より、正解は②。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

平成 30 年度 大学入学共通テスト試行調査　世界史 B

第 5 問

出題範囲	世界史に関わる経済・統計
難易度	★★★☆☆
所要時間	得意：8 分　　ふつう：10 分　　苦手：12 分
講評	第 5 問では、数値データを基にした表、棒グラフ・折れ線グラフなどの資料から読み取れることを世界史の知識とリンクさせて解答する問題が多く出題された。このような問題に対しては、正確に図表やグラフを読み取る、というのが最重要ポイントである。図表やグラフが意味するものを読み取ることができれば、あとは自分の中の世界史の知識量が勝負になる。図表・グラフの読み違えによるミスをしないよう、十分に注意しよう。

A

問 1　29　**正解は③**

難易度　★★☆☆☆

解説

① 正　**ワット**による**蒸気機関の改良**（1769年）ののち、蒸気機関を動力源とする機械が多数発明・実用化された。それらの機械は工場に導入され（**機械制工場**）、産業革命の基盤的役割を果たした。この選択肢は「生徒 P」の発言に対応している。

② 正　イギリスにおける工業化の急速な進展は、さまざまな産業の原料や生産物を輸送する交通の領域にも影響を与えた。これらは**交通革命**と呼ばれ、**蒸気船**（1807年、**フルトン**）や**蒸気機関車**（1814年、**スティーヴンソン**）の発明、運河網の拡大、交通機関や交通網の発展が進んだ。この選択肢は「生徒 Q」の発言に対応している。

③ 誤　**保護貿易**（主義）とは、自国産業保護のため、輸入品に高い関税をかけたり、輸入数量の上限などを設けたりする貿易のことである。したがって、保護貿易によって輸入品の価格は（一般的に）上がる。

④ 正　18 世紀のイギリスでは、**第 2 次囲い込み**（エンクロージャー）と呼ばれる、議会主導の土地集約が進められた。これによって土地を失った小規模農民の一部は、都市部に流入していった。この選択肢は「生徒 R」の発言に対応している。

以上より、正解は③。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

問 2 30 **正解は④**

難易度 ★☆☆☆☆

解説

イ グラフ 1 の棒グラフを見ると、19 世紀以降はアメリカ合衆国の割合がかなり大きくなってきているとわかる。

ウ アメリカでは、南部を中心にタバコや綿花を生産するプランテーション経営が行われていた。このプランテーションにおいては、主に黒人奴隷が労働力とされた。

以上より、イ - アメリカ合衆国、ウ - 黒人奴隷を大農園で働かせる制度 となる④が正解。

問 3 31 **正解は②**

難易度 ★★☆☆☆

解説

① 正 グラフ 2 を見ると、1820 年前後で「イギリスから東へ輸出された綿布の総額」(b の点線) が「アジア (主にインド) から西へ輸出された綿布の総額」(a の実線) を上回ったことがわかる。

② 誤 表 1 を見ると、確かに「綿糸価格 (x + y)」は産業革命期 (18 世紀後半) に急激に下がっている。しかし、これは「生産コスト (y)」が下がったことによって起きた現象であり、「原料綿花コスト (x)」はむしろ上昇している (その後、すぐに下落する)。

③ 正 グラフ 1 の棒グラフを見ると、19 世紀半ばのイギリスで消費された綿花の主要な生産地は「アメリカ合衆国」であるとわかる。また、グラフ 2 を見ると、19 世紀半ばで「イギリスから東へ輸出された綿布の総額」(b の点線) が急上昇していることもわかる。

④ 正 イギリスで産業革命が進展した時期 (18 世紀半ば～19 世紀初頭) について、グラフ 1 の折れ線グラフを見ると、「イギリスへの原料綿花の輸入量」は増加傾向にあるとわかる。同時期について、グラフ 2 を見ると「イギリスから東へ輸出された綿布の総額」(b の点線) も増加傾向にあるとわかる。

以上より、正解は②。

B

問 4 32 **正解は②**

難易度 ★★☆☆☆

解説

① 誤 世界貿易機関 (WTO) が発足したのは 1994 年である。問われているのは戦後から 1970 年頃までの出来事であるので、この選択肢は不適である。

② 正 1945 年 12 月には、**国際通貨基金** (IMF) と**国際復興開発銀行** (IBRD、世界銀行) が発足し、ブレトン＝ウッズ国際経済体制と呼ばれる国際金融・経済体制が構築された。金の多くがアメリカに集中していたため**ドルが基軸通貨**とされ、米ドルに対する各国通貨の交換比率が定められた。なお、1971 年にはドルと金

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。

の兌換が停止され（**ドル＝ショック**）、1973年以降、世界経済は**変動相場制**に移行した。

③ 誤　アムステルダム（オランダ）が国際金融の中心として繁栄したのは、17世紀前半である。問われているのは戦後から1970年頃までの出来事であるので、この選択肢は不適である。

④ 誤　大国が、植民地を囲い込む経済ブロックを形成していたのは戦間期から戦時中にかけての期間である。アメリカは**ドル＝ブロック**を、イギリスは**スターリング（ポンド）＝ブロック**を、フランスは**フラン（金）＝ブロック**を形成していた。問われているのは戦後から1970年頃までの出来事であるので、この選択肢は不適である。

以上より、正解は②。

問5 33 **正解は②**

難易度 ★★★☆☆

解説

「矢印Xの時期のアメリカ合衆国大統領」とはニクソン大統領である。

① 誤　ヨーロッパ諸国とアメリカ大陸の相互不干渉を表明したのは、モンロー大統領である。1823年に出されたこの宣言は**モンロー教書**と呼ばれ、アメリカの**孤立主義**外交の起点とされる。

② 正　ニクソン大統領は1972年に訪中し、米中関係の改善が図られた。

③ 誤　1947年に共産主義陣営に対して**「封じ込め」政策**を展開したのは、トルーマン大統領である。

④ 誤　ラテンアメリカ諸国に対しては内政干渉を控え、ドル経済圏に組み込む**善隣外交**を展開したのは、フランクリン＝ローズヴェルト大統領である。

以上より、正解は②。

問6 34 **正解は③**

難易度 ★★★☆☆

解説

オ 矢印Yの時期に「イスラーム共和国が成立した」のは、イランである。**パフレヴィー朝**の専制に対して、宗教指導者**ホメイニ**を中心に反対運動がおこり、1979年に**イラン＝イスラーム共和国**が成立した（**イラン革命**）。イランは地図中のbに該当する。

カ 矢印Zの時期に「隣国を侵略し、多国籍軍の攻撃を受けた」のは、イラクである。1991年の**湾岸戦争**では、前年の**イラクによるクウェート侵攻**に対して多国籍軍が派遣された。イラクは地図中のcに該当する。

以上より、オ - b、カ - c となる③が正解。ちなみに、aはアフガニスタン、dはサウジアラビアである。

©Foresight Inc.
本サービス・コンテンツの知的財産権その他一切の権利は
株式会社フォーサイトに帰属し，無断転載・引用を禁止します。